（16）保健･福祉施設：高齢者福祉施設

1）施設概要

本市の高齢者福祉施設は、老人福祉センター、高齢者生きがい作業所、介護予防支援施設及びその他高齢者福祉施設の合計 22 施設あります。総延床面積は約 8 千㎡で、市が保有する施設の 0.3%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 14 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 4 施設、築 20 年以下が 4 施設です。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

老人福祉センター

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	保有機能			
						浴室	集会室	リハビリ室	会議室等
1	東老人福祉センター	東区健軍本町 31 番 20 号	平成 6 年	23	208.68	○	○		○
2	西老人福祉センター	西区小島 3 丁目 3 番 26 号	昭和 48 年	44	251.72	○	○		○
3	河内老人福祉センター	西区河内町船津 2708 番地	昭和 50 年	42	663.04	○	○	○	○
4	南老人福祉センター	南区川尻 4 丁目 8 番 13 号	昭和 49 年	43	263.77	○	○		○
5	天明老人福祉センター	南区銭塘町 2172 番地	平成 3 年	26	380.47	○	○		○
6	富合老人福祉センター	南区富合町木原 2319 番地	昭和 50 年	42	537.57	○	○		○
7	城南老人福祉センター	南区城南町宮地 976 番地	昭和 52 年	40	668.61	○	○	○	○
8	北老人福祉センター	北区八景水谷 1 丁目 2 番 6 号	昭和 48 年	44	294.51	○	○		○
9	川上老人福祉センター	北区梶尾町 1279 番地 1	昭和 46 年	46	655.55	○	○		○
10	西里老人福祉センター	北区徳王町 870 番地	平成 7 年	22	534.28	○	○	○	○
合　計					4,458.20				

※中央老人福祉センターは熊本地震により被災し解体予定（平成 31 年度に新施設へ機能集約予定）

高齢者生きがい作業所

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	講座科目			
						陶芸	園芸	手芸	木彫
11	京町高齢者生きがい作業所	中央区京町 2 丁目 8 番 4 号	昭和 60 年	32	49.94		○	○	
12	水前寺高齢者生きがい作業所	中央区水前寺 4 丁目 47 番 49 号	昭和 60 年	32	171.20	○	○	○	○
13	東部高齢者生きがい作業所	東区健軍 3 丁目 13 番 10 号	昭和 57 年	35	94.49	○			
14	花園高齢者生きがい作業所	西区花園 7 丁目 19 番 1 号	昭和 54 年	38	121.05	○			
15	白坪高齢者生きがい作業所	西区田崎 1 丁目 7 番 10 号	昭和 58 年	34	49.58		○	○	
16	西部高齢者生きがい作業所	西区高橋町 1 丁目 5 番 11 号	平成元年	28	193.82	○		○	
17	南部高齢者生きがい作業所	南区川尻 4 丁目 7 番 12 号	昭和 57 年	35	63.88	○			
合　計					743.96				

介護予防支援施設

No	名　称	所　在　地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	保有機能		
						多目的ホール	会議室	調理室
18	東部はつらつ交流会館	東区秋津 3 丁目 17 番 23 号	平成 15 年	14	299.82	○	○	
19	お達者文化会館	南区馬渡 1 丁目 7 番 1 号	平成 12 年	17	185.69	○		
20	南部万年青会館	南区八幡 6 丁目 9 番 25 号	平成 13 年	16	494.60	○	○	○
合　計					980.11			

その他高齢者福祉施設

No	名　称	所　在　地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備　考
21	高齢者技能習得センター	西区島崎 4 丁目 2 番 95 号	平成 12 年	17	82.50	
22	雁回敬老園	南区富合町木原 2316 番地	昭和 55 年	37	1,651.23	
合　計					1,733.73	

南老人福祉センター

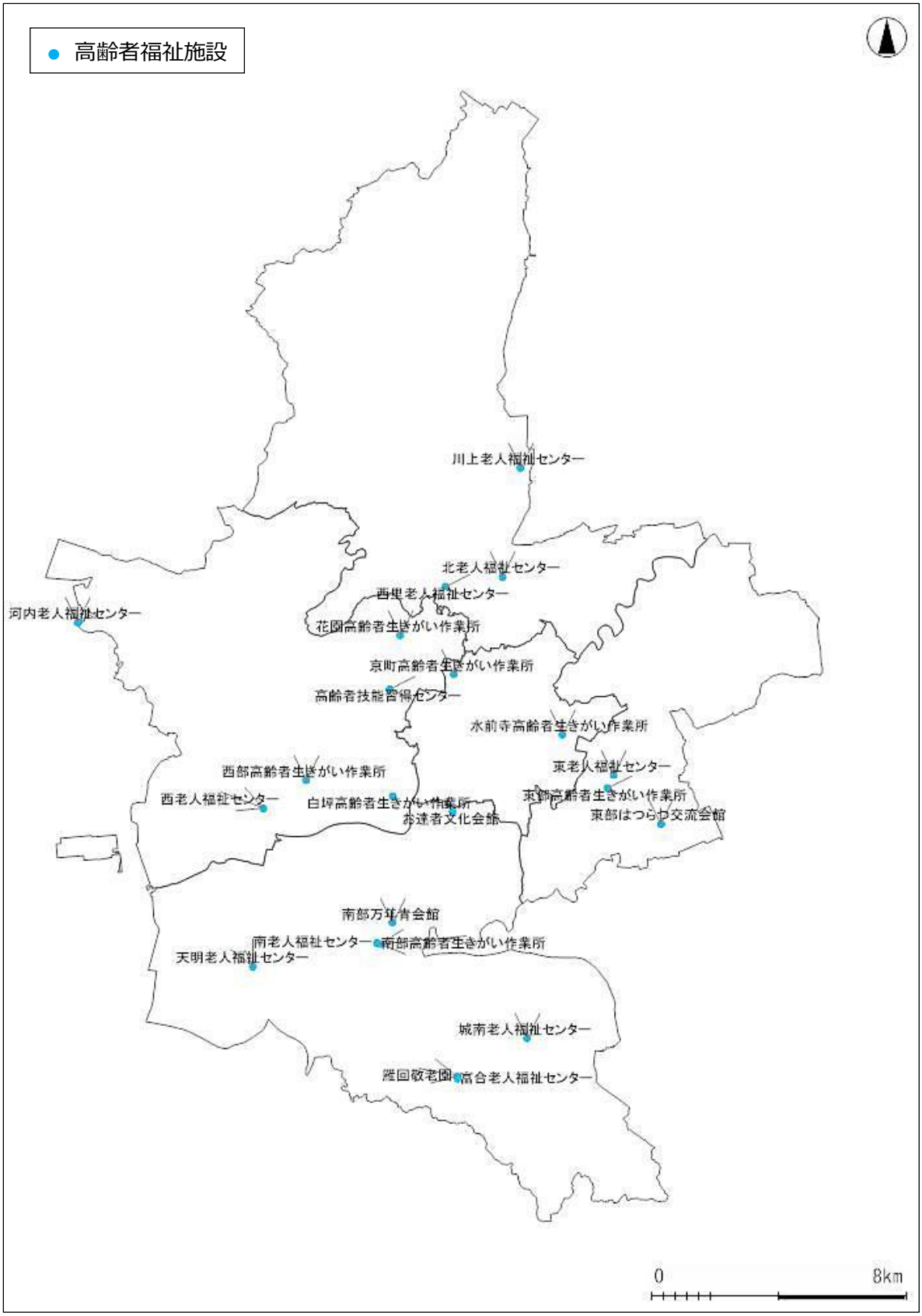
水前寺高齢者生きがい作業所

東部はつらつ交流会館

高齢者技能習得センター

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況

No	名　称	運営時間	休館日	運営日数	運営方法（直営、指定管理）	備　考
1	東老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	195	指定管理	
2	西老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	286	指定管理	
3	河内老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	286	指定管理	
4	南老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	286	指定管理	
5	天明老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	283	指定管理	
6	富合老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	275	指定管理	
7	城南老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	285	指定管理	
8	北老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	286	指定管理	
9	川上老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	283	指定管理	
10	西里老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	288	指定管理	
11	京町高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
12	水前寺高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
13	東部高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
14	花園高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
15	白坪高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
16	西部高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
17	南部高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	359	直営	
18	東部はつらつ交流会館	9:00～22:00	月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始	198	指定管理	
19	お達者文化会館	9:00～22:00	月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始	304	指定管理	
20	南部万年青会館	9:00～22:00	月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始	305	指定管理	
21	高齢者技能習得センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	309	指定管理	
22	雁回敬老園	－	年中無休	365	指定管理	

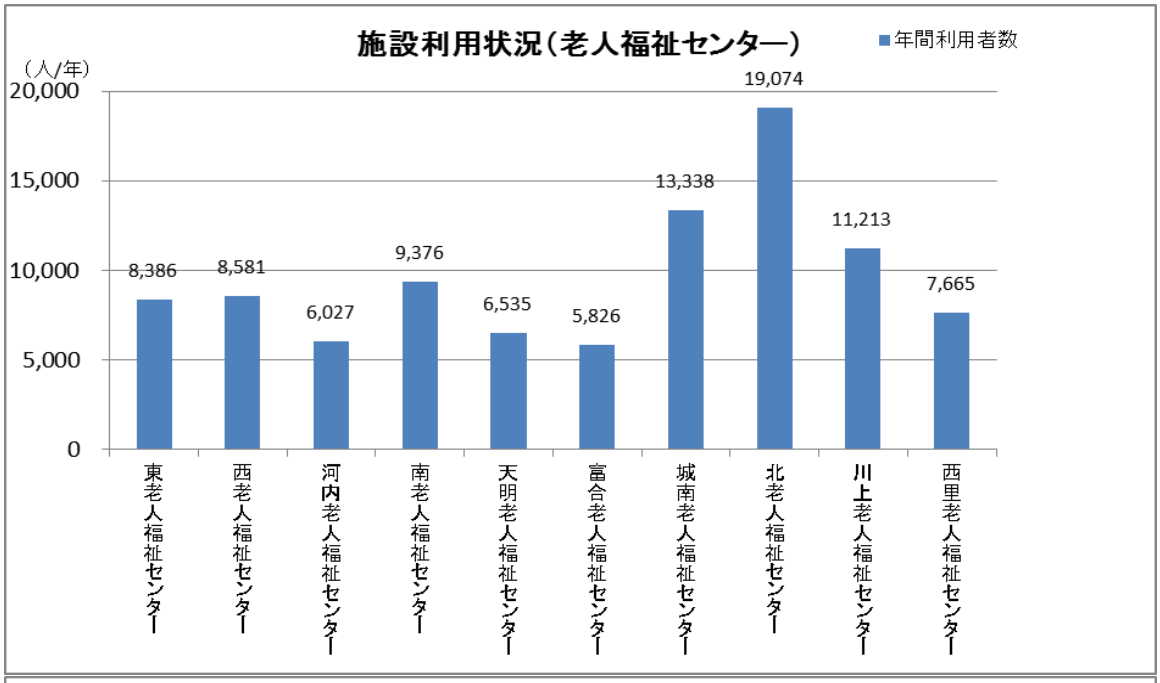
※運営日数は平成 28 年度実績

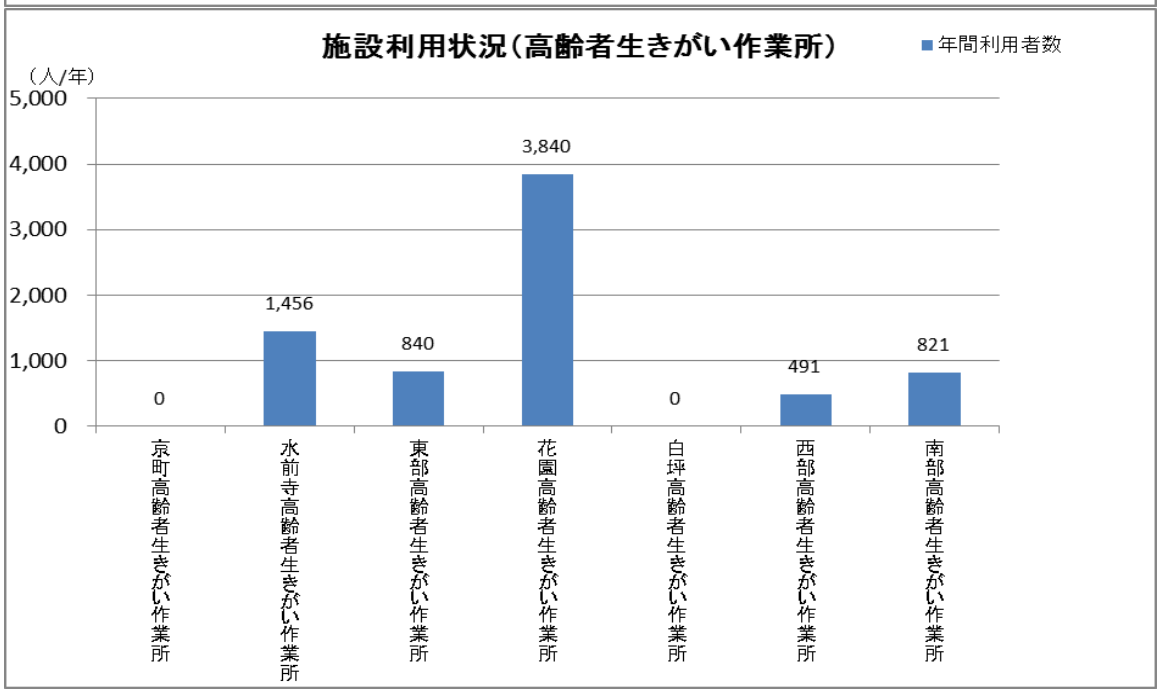
②利用状況

高齢者福祉施設の平成 28 年度の年間利用者数は全体で約 14 万 2 千人です。施設別では、老人福祉センターが約 9 万 6 千人で全体の約 68%、高齢者生きがい作業所は約 7 千人で全体の約 5%を占めていますが、施設ごとの利用者数に大きな差が見られます。介護予防支援施設は約 3 万 6 千人で全体の約 26%を占めていますが、施設稼働率が低い施設が見受けられます。

高齢者技能習得センターの利用者数は 2,127 人（全体の約 1%）で、雁回敬老園の利用者（入所者）は定員 50 人に対して 31 人となっています。

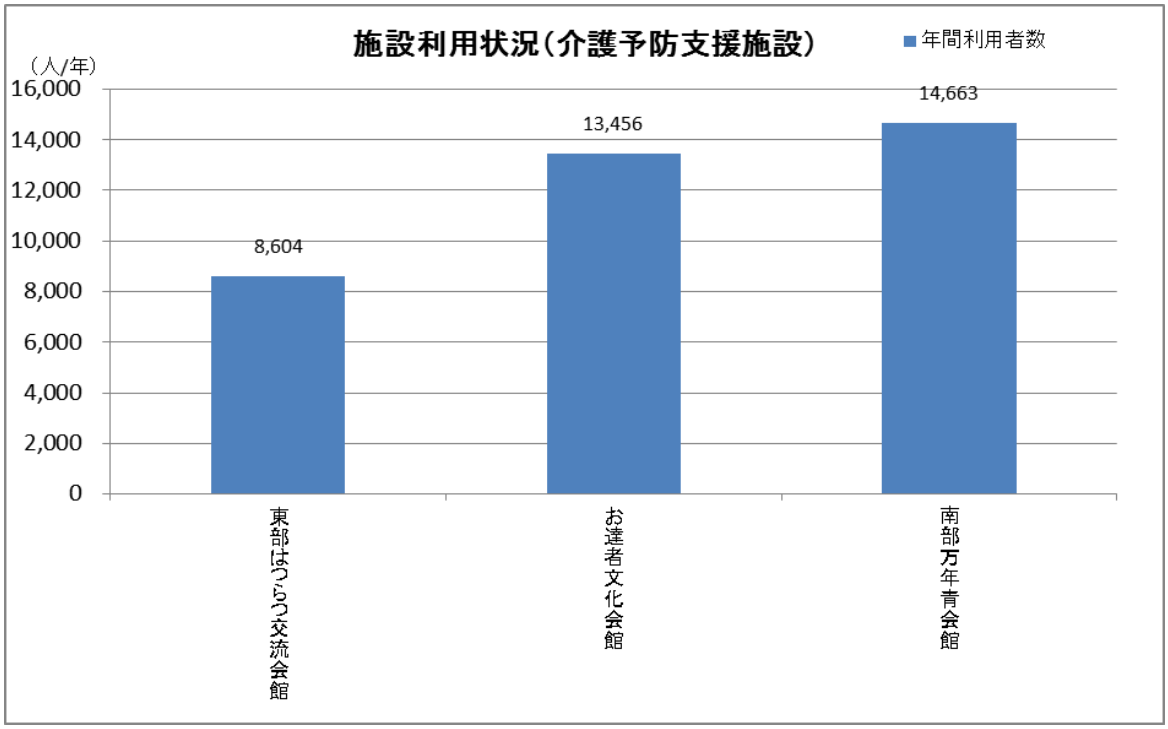
図表　施設利用状況（平成 28 年度）



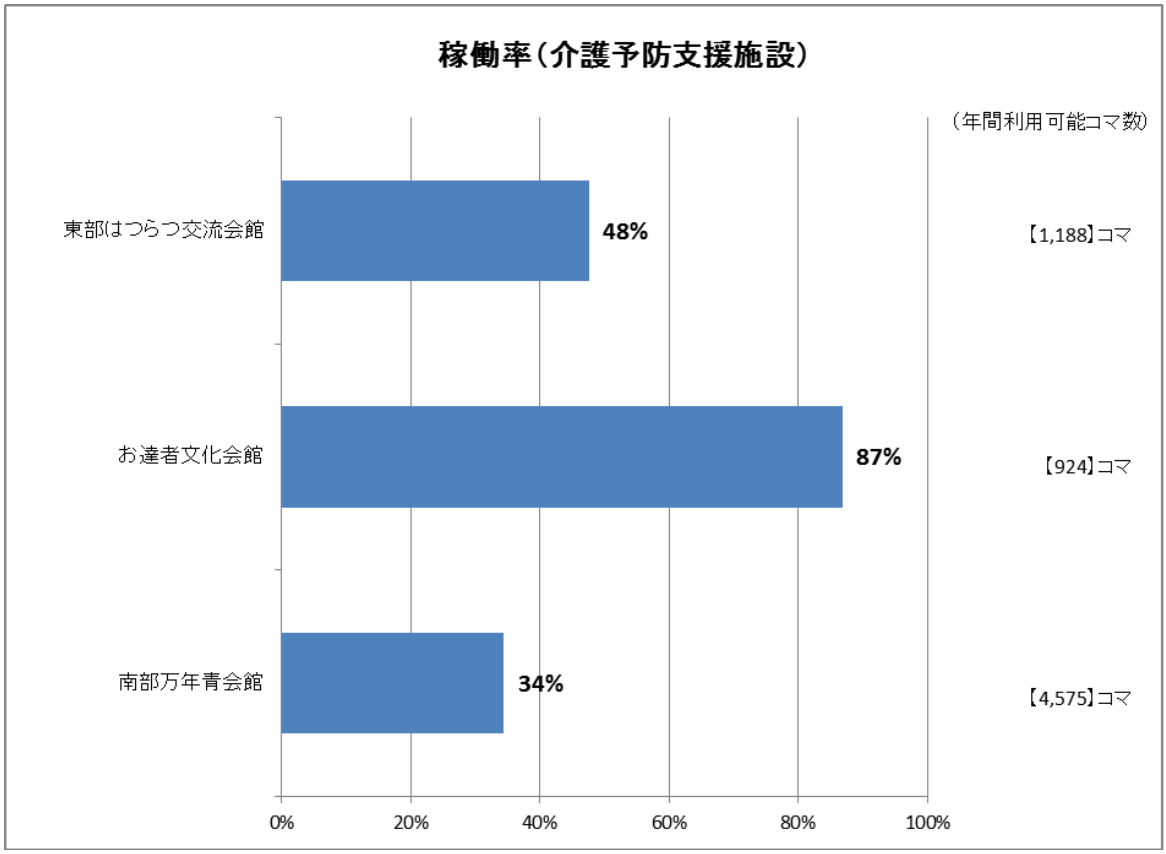


※　京町高齢者生きがい作業所、白坪高齢者生きがい作業所については、利用者実績が不明。

※　上記以外の施設については、当該施設で実施する講座の定員を記載。



図表　介護予防支援施設の施設稼働率（平成 28 年度）



3）熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用（千円）	復旧完了（予定）日	施設被害の概要
1	中央老人福祉センター	57,589	H29 年度中【解体】	1･2 階及び 2･3 階階段踊り場ガラス破損、柱及び梁の亀裂など。中央公民館との機能統合予定。
2	東老人福祉センター	14,481	H29 年 12 月	外壁ブロック倒壊、屋外受水槽・雨樋・内壁タイル・建具等破損、浴槽漏水、火災報知機の故障など。
	西老人福祉センター	—	—	—
	河内老人福祉センター	438	H29 年 2 月	壁の亀裂、天井照明の落下・破損。
	南老人福祉センター	—	—	—
	天明老人福祉センター	525	H29 年 3 月	壁の亀裂。
	富合老人福祉センター	74,336	H30 年 3 月	被災度区分判定「中破」。増築部の壁に亀裂・隙間、内外壁・床・基礎に亀裂、ボイラー機器の破損、地盤沈下による機器の損傷など。
	城南老人福祉センター	5,114	H30 年 2 月	内壁の亀裂や剥離など、ボイラー煙突の亀裂、別棟屋根瓦の破損、空調機の破損など。
	北老人福祉センター	—	—	—
	川上老人福祉センター	45,086	H29 年 3 月	内外壁のボード剥がれ・亀裂、ボイラー機器土台・建具の破損、基礎の亀裂。
	西里老人福祉センター	—	—	—
	京町高齢者生きがい作業所	216	H29 年 3 月	内壁・建具の破損、吊戸棚の落下。
	水前寺高齢者生きがい作業所	106	H29 年 3 月	灯油窯電磁ポンプ等の破損。
	東部高齢者生きがい作業所	152	H29 年 3 月	天井損傷、屋根スレート亀裂。
	花園高齢者生きがい作業所	—	—	—
	白坪高齢者生きがい作業所	—	—	—
	西部高齢者生きがい作業所	—	—	—
	南部高齢者生きがい作業所	146	H29 年 2 月	外壁の亀裂。
	東部はつらつ交流会館	10,823	H30 年 1 月	照明機器支持線断裂、水道管・空調機器などの破損、地盤沈下、駐車場路盤の亀裂など。
	お達者文化会館	84	H29 年 2 月	地盤沈下による陶芸棟出入口の損傷。
	南部万年青会館	999	H29 年 3 月	内壁の亀裂、建具の損傷。
	高齢者技能習得センター	—	—	—
	雁回敬老園	4,127	H29 年 7 月	蓄熱槽パイプ・スプリンクラー呼水槽の破損、エレベーターの部品損傷、増築部の壁面亀裂。
合計		**214,222**		

②避難所の開設状況（避難所を開設したコミセンのみ記載）

No	名称	避難所運営期間	避難者の最大人数	避難者の延べ人数
1	東老人福祉センター	5 月 8 日　～　8 月 15 日	32	1,786
2	東部はつらつ交流会館	5 月 8 日　～　8 月 15 日	29	1,465
合計			61	3,251

4）総合管理計画における施設分野別方針

方針1　資産総量の適正化

・老人福祉センター及び高齢者生きがい作業所については、老朽化した施設が多いため、施設ごとに統廃合を含めて今後の方針を検討し、老朽化対策や施設機能の見直しに取り組みます。

・雁回敬老園については、公設の養護老人ホームとしての役割を検証するとともに、個室化や民営化など、施設のあり方について検討します。

方針2　施設の長寿命化の推進

・介護予防施設については、利用実態の把握を行いながら、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

（17）保健･福祉施設：障がい者福祉施設

1）施設概要

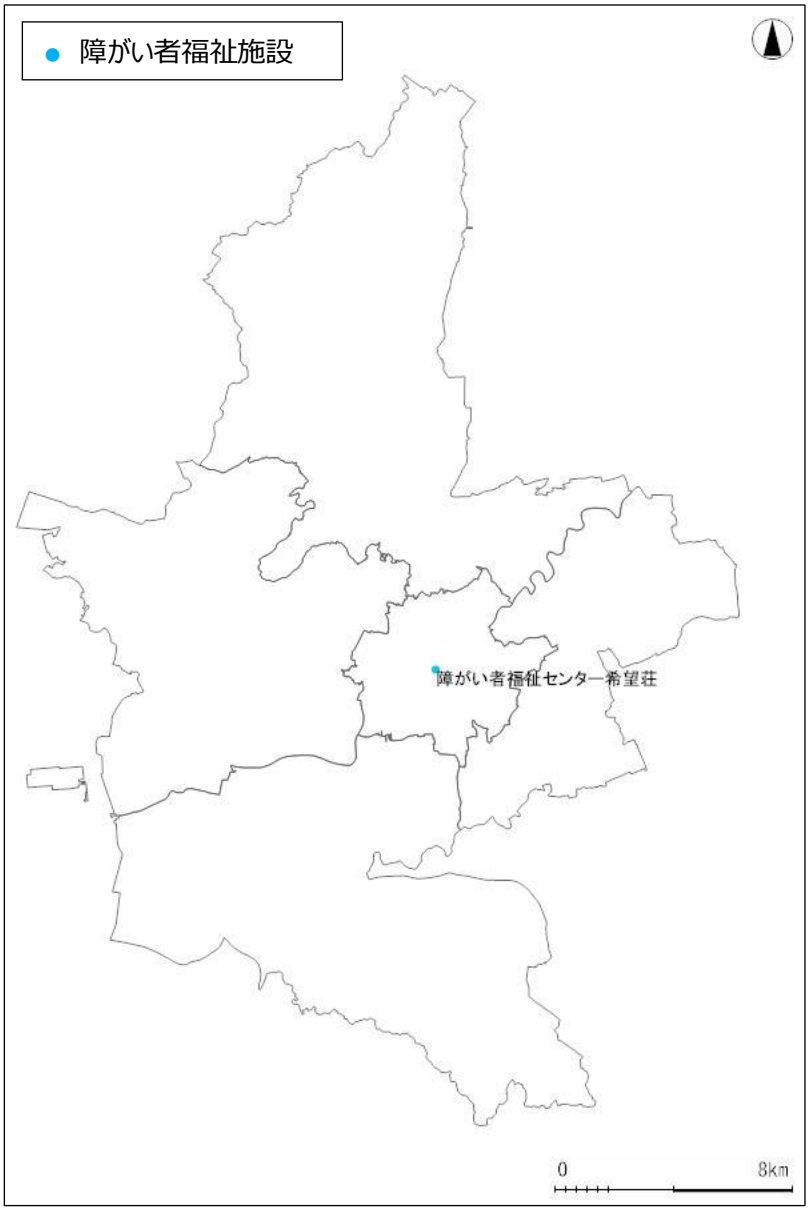
本市の障がい者福祉施設は、1 施設あります。延床面積は約 2 千㎡で、築後 37 年が経過しています。希望荘では、障がい者及びボランティアの方を対象に、各種講座やふれあい総合相談所の開設をはじめ、大ホール、会議室などの貸室や入浴・機能訓練等のサービスを行っています。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	施設機能
1	障がい者福祉センター希望荘	中央区大江 5 丁目 1 番 15 号	昭和 55 年	37	1,923.62	大ホール、音楽室、パソコン室、和室研修室×2、会議室×2、料理実習室、プレイルーム、浴室、多目的訓練室など

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）

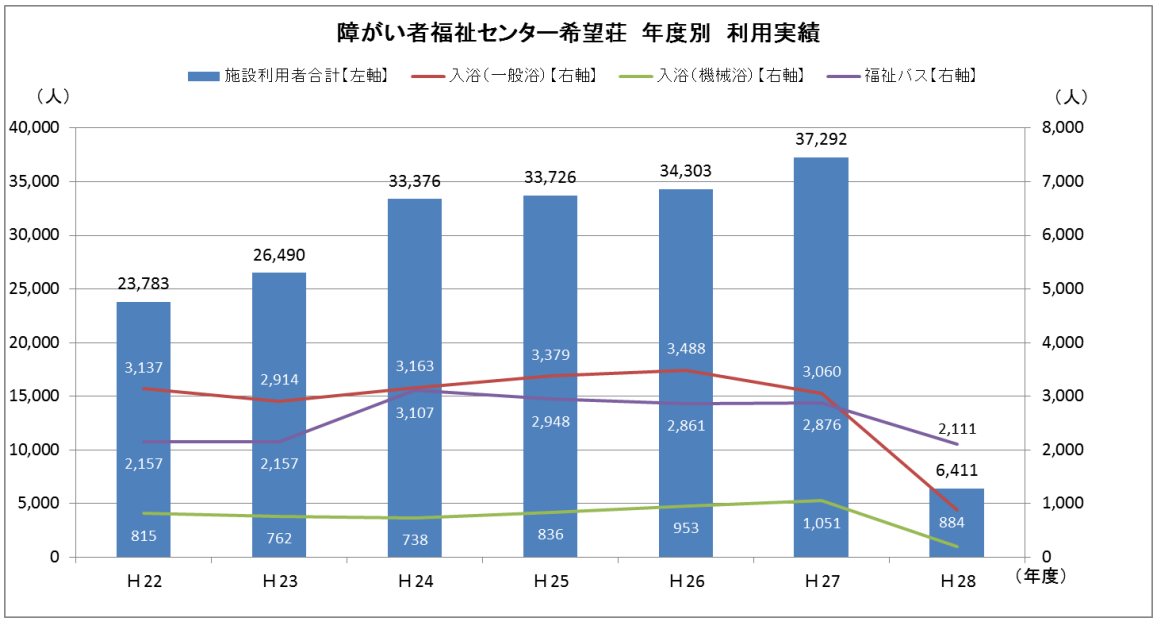


2）実態把握

① 利用状況

希望荘は熊本地震により被災し、4 月 15 日以降は施設が利用できなくなったため、平成 28 年度の利用者数は 6,411 人と減少しています。希望荘利用者のうち、入浴サービスの利用者は、一般浴が 884 人、機械浴が 198 人です。福祉バスについては、6 月から利用を再開し、利用者は 2,111 人となっています。

図表 障がい者福祉センター希望荘 年度別 利用実績（過去 7 年分）



※平成 28 年度の利用実績は 4 月 1 日から 15 日までの実績（福祉バスを除く）

3）熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用（千円）	復旧完了（予定）日	施設被害の概要
1	障がい者福祉センター希望荘	102,578	H30 年 10 月	福祉棟：被災度区分判定「中破」、各階の壁の亀裂等。 ディサービス棟：被災度区分判定「軽微」、各階の壁の亀裂等。
合計		95,758		

②避難所の開設状況

障がい者福祉センター希望荘において、避難所の開設は無し。

4）総合管理計画における施設分野別方針

方針2 施設の長寿命化の推進

・障がい者福祉センター希望荘は、被災状況の調査中ですが、施設の老朽化が進みつつあることから継続的に使用する場合には、適切なメンテナンスに努め、施設の長寿命化を図ります。

方針3 施設運営に要する総コストの削減

・継続して施設を使用する場合には、運営手法のあり方や浴室の利用料金等について検討を行い、収支ギャップを埋める取り組みを進めます。

5）駐車場の活用について

希望荘から道路を挟んで北側に駐車場を 39 台分確保し、施設利用者のための駐車場として利用されています。

当該駐車場は、平成 14 年度に九州郵政局から購入した土地を駐車場として整備し、現在に至っています。

隔週または毎月定期的に開催される絵画、陶芸等の主催講座や、手話や和裁等の自主講座開催時は満車に近い利用状況ですが、平日は低利用にとどまっているという課題があります。

公共施設の駐車場については、利用状況の調査を行い、有効活用に向けた管理方法の検討が現在進められており、中心市街地に近い当該駐車場においても、利活用に向けた検討が必要です。

障がい者福祉センター希望荘

（18）保健･福祉施設：児童福祉施設

1）施設概要

本市の児童福祉施設は、1 施設あります。延床面積は約 5 千㎡で、築後 6 年が経過しています。こどもセンターでは、児童相談所をはじめ、障がい者福祉相談所、教育相談室を開設しています。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	フロア構成
1	こどもセンター	中央区大江 5 丁目 1 番 50 号	平成 23 年	6	4,808.51	4F　児童相談所 3F　児童相談所 2F　教育相談室 1F　障がい者福祉相談所

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）

2）実態把握

①利用状況

平成 28 年度の相談件数は、児童相談所が 2,284 件、教育相談室が 2,890 件でした。

図表　児童相談対応件数（平成 24 年度～28 年度）

（件）

相談種別		H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
養護相談	児童虐待相談	374	359	485	604	570
	その他の養護相談	292	382	395	421	493
障がい等相談		626	628	642	695	668
	うち療育手帳判定件数	576	592	625	654	611
非行相談		93	87	124	106	111
育成相談	性格行動相談	125	117	123	123	282
	不登校相談	66	68	62	60	63
	適正相談	3	5	1	0	1
	育児・しつけ相談	15	10	24	24	17
その他の相談		49	28	134	170	79
計		1,643	1,684	1,990	2,203	2,284

図表　教育相談対応件数（平成 24 年度～28 年度）

（件）

相談種別	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
発達や就学	1,648	1,604	1,761	1,795	1,864
不登校	777	1,074	1,160	970	1,014
その他	18	26	18	8	12
計	2,443	2,704	2,939	2,773	2,890

また、障がい者福祉相談所では身体障がい者手帳や療育手帳の判定・交付決定業務、補装具の処方・適合判定など行っています。

こどもセンター

3）熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用（千円）	復旧完了（予定）日	施設被害の概要
1	こどもセンターあいぱる	83,017	H30 年 3 月	壁の亀裂、屋内運動場の天井・南側階段の破損、空調機の落下、防火扉の損傷など。
合計		**83,017**		

②避難所の開設状況

児童福祉施設分野の施設において、避難所の開設は無し。

3）総合管理計画における施設分野別方針

方針2　施設の長寿命化の推進

・こどもセンターについては、スペースの有効活用策を検討しながら、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

（19）保健･福祉施設：保健施設

1）施設概要

本市の保健施設は、11 施設あります。これらから区役所等に入っている施設を除くと、施設数は 5 施設で総延床面積は約 1 万㎡で、これは市が保有する施設の 0.6%を占めています。

5 施設の築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 2 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 1 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

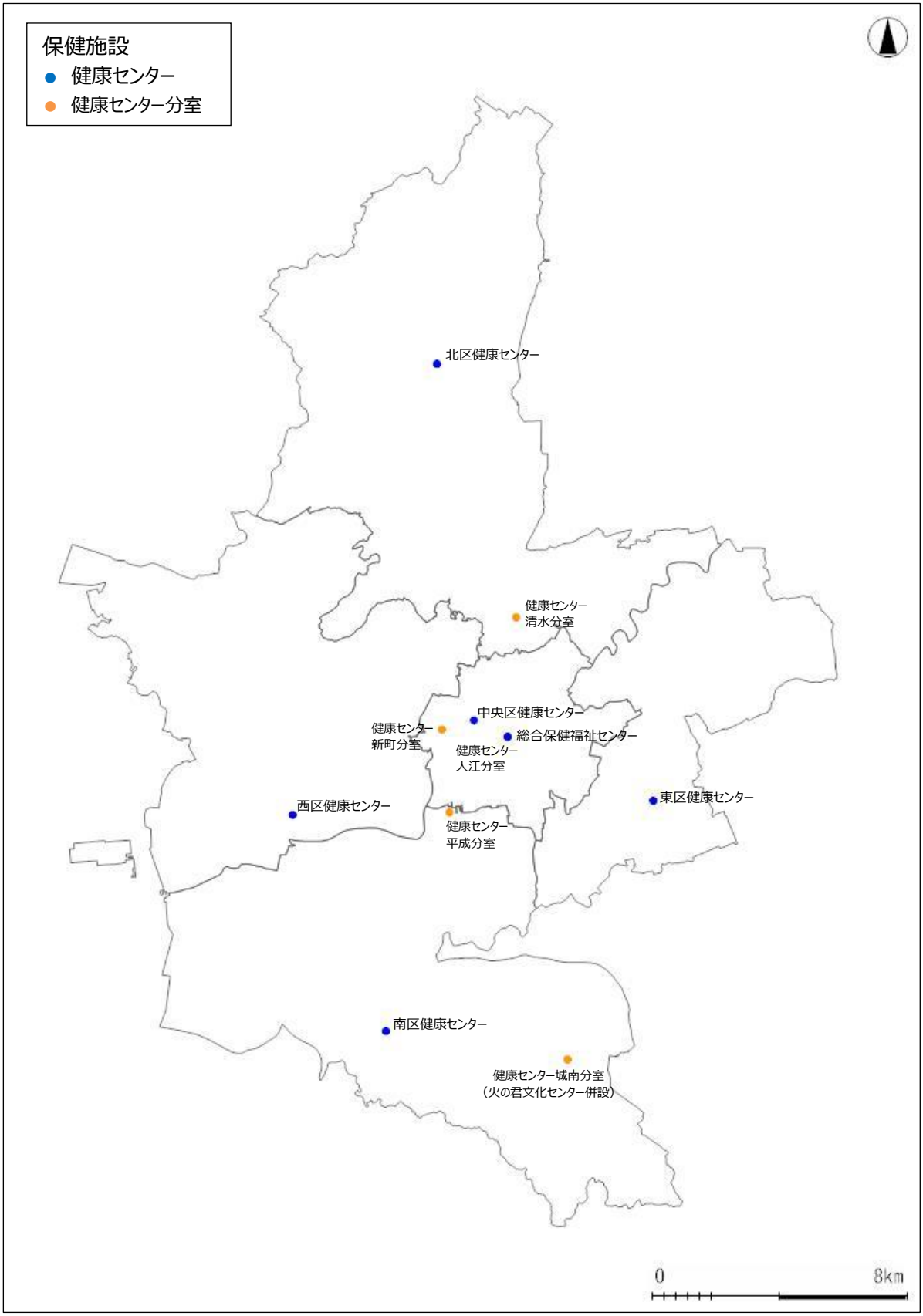
①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所管区域	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）
1	総合保健福祉センター	—	中央区大江 5 丁目 1 番 1 号	平成 19 年	10	8,002.65
2	中央区健康センター	中央区	中央区手取本町 1 番 1 号※中央区役所内	—	—	—
3	健康センター大江分室		中央区大江 5 丁目 1 番 1 号 ※総合保健福祉センター内	—	—	—
4	東区健康センター	東区	東区東本町 16 番 30 号 ※東区役所内	—	—	—
5	西区健康センター	西区	西区小島 2 丁目 7 番 1 号 ※西区役所内	—	—	—
6	健康センター新町分室		中央区新町 2 丁目 4 番 27 号	昭和 61 年	31	2,798.80
7	南区健康センター	南区	南区富合町清藤 405 番地 3 ※南区役所内	—	—	—
8	健康センター平成分室		南区平成1丁目 10 番 8 号	平成元年	28	1,370.86
9	健康センター城南分室 （火の君文化ホール併設）		南区城南町舞原 394 番地1	平成 9 年	20	469.96
10	北区健康センター	北区	北区植木町岩野 238 番地 1 ※北区役所内	—	—	—
11	健康センター清水分室		北区清水本町 16 番 10 号	昭和 57 年	35	1,369.61
合　計						14,011.88

※上記２,３,４,５、7 及び 10 については、それぞれ各区役所等の施設の掲載箇所で建築年度等を掲載。

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況

No	名　称	所管区域	運営時間	休業日等	備考
1	総合保健福祉センター	—	2F～4F 8:30～17：15 1F 8:30～21:00	2F～4F 土曜日・日曜日・祝日・年末年始 1F 第 2 木曜日・年末年始	複合施設 4F 熊本市保健所 3F こころの健康センター ひきこもり支援センター「りんく」 中央区保健子ども課健康センター大江分室 障がい保健福祉課精神保健福祉室 健康づくり推進課 2F 子ども発達支援センター 子ども・若者総合相談センター 発達障がい者支援センター（みなわ） 1F 市民活動支援センター
2	中央区健康センター	中央区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	健診スペースは大江分室のみ
3	健康センター大江分室		※健診等実施日のみ施設使用		総合保健福祉センター3F
4	東区健康センター	東区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	東区役所3F
5	西区健康センター	西区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	西区役所3F
6	健康センター新町分室		※健診等実施日のみ施設使用		
7	南区健康センター	南区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	南区役所3F
8	健康センター平成分室		※健診等実施日のみ施設使用		
9	健康センター城南分室 （火の君文化ホール併設）		※健診等実施日のみ施設使用		
10	北区健康センター	北区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	北区役所 1F
11	健康センター清水分室		※健診等実施日のみ施設使用		

※平成 29 年度より健康センター新町分室での検診は実施していません。

（資料）保健福祉サービス体制　（H29.4.1 現在）　※「くまもと市政概要 2017」より抜粋

	単位	本庁等	市保健所	中央区役所	東区役所	西区役所	南区役所	北区役所
医師	人	4	1	0	1	1	1	1
保健師	人	26	2	25	25	17	21	22
管内世帯数	世帯	―	―	92,119	83,444	42,120	53,150	62,449
管内人口	人	―	―	176,886	188,283	91,987	129,512	144,040

（参考）　1 歳 6 ヶ月児及び 3 歳児健康診査受診者数（各区健康センター及び分室ごと）

区名	健康診査		備考
	1 歳 6 ヶ月	3 歳	
中央区	1,392	1,397	地震被災の影響で清水分室での実施
東区	1,944	1,900	
西区	787	751	
うち新町分室	40	46	分室運営日数　年間 5 日（H28）※左記検診のみ
南区	1,380	1,399	
うち平成分室	1,147	1,168	分室運営日数　年間 66 日（H28）
うち城南分室	233	231	分室運営日数　年間 24 日（H28）※左記検診のみ
北区	1,338	1,271	地震被災の影響で清水分室のみでの実施
うち清水分室	1,338	1,271	
合計	6,848	6,718	

（参考）総合保健福祉センター内各施設（保健所・健康センター分室除く）について

名称	主な事業等	H28 主な実績	
		項目	件数
こころの健康センター	・精神保健福祉相談（こころの健康相談）及び診療 ・人材育成、教育研修、普及・啓発、就労準備デイケア ・自立支援医療及び精神障がい者保健福祉手帳の判定　ほか	電話相談（延べ）	7,643
		面接件数（延べ）	599
子ども発達支援センター	障がい又は障がいの疑いのある子どもに対して 個々の発達に応じた支援を実施 （医師、心理相談員等による相談、診察、検査、初期支援）	電話相談	6,511
		来所相談	4,010
子ども・若者総合相談センター	・子ども・若者に関するあらゆる相談を電話・面接・メール・FAX で対応し、助言や情報の提供を実施 ・緊急性や専門性が高い相談は関係機関と連携した対応を実施	相談件数	6,867
市民活動支援センター （あいぽーと）	NPO・ボランティア団体等が取り組む市民公益活動のために、情報提供や活動の場の提供（セミナー、イベント等）を行うもの	利用人数	27,827

3）熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用（千円）	復旧完了（予定）日	施設被害の概要
1	総合保健福祉センター	181,870	H29 年 3 月	内外壁の亀裂・剥落、中央階段外部建具の損傷、北側大屋根の傾き。
2	健康センター新町分室	—	—	—
3	健康センター平成分室	—	—	—
4	健康センター清水分室	—	—	—
合計		181,870		

②避難所の開設状況

児童福祉施設分野の施設において、避難所の開設は無し。

4）課題　総合管理計画における施設分野別方針

方針2　施設の長寿命化の推進

・各区役所内の健康センターについては、庁舎機能と一体的に適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

方針3　施設運営に要する総コストの削減

・旧保健福祉センターを中心とした分室については、スペースの有効活用を進めますが、特に健診手法のあり方について、必要性や効果の面から検証を行い、他の用途への転用も視野に検討を行います。

（20）保健･福祉施設：その他社会福祉施設

1）施設概要

本市のその他社会福祉施設は、6 施設あります。総延床面積は約 6 千㎡で、市が保有する施設の 0.3%を占めています。

築年数の状況は、築 21 年以上 築 30 年以下が 3 施設、築 20 年以下が 3 施設です。

①施設一覧（平成 29 年 4 月 1 日現在）

No	名　　称	所在地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備　考
1	東部在宅福祉センター	東区健軍本町 31 番 20 号	平成 6 年	23	593.02	
2	南部在宅福祉センター	南区日吉 1 丁目 4 番 15 号	平成 5 年	24	831.90	
3	すこやか交流広場	南区御幸笛田 8 丁目 1534 番地 1	平成 19 年	10	28.06	
4	夢もやい館	北区楠 1 丁目 20 番 5-101 号	平成 14 年	15	903.66	
5	植木温泉福祉交流館	北区植木町米塚 190 番地 2	平成 5 年	24	882.68	
6	植木健康福祉センター（かがやき館）	北区植木町岩野 285 番地 29	平成 14 年	15	3,072.52	
合　計					6,311.84	

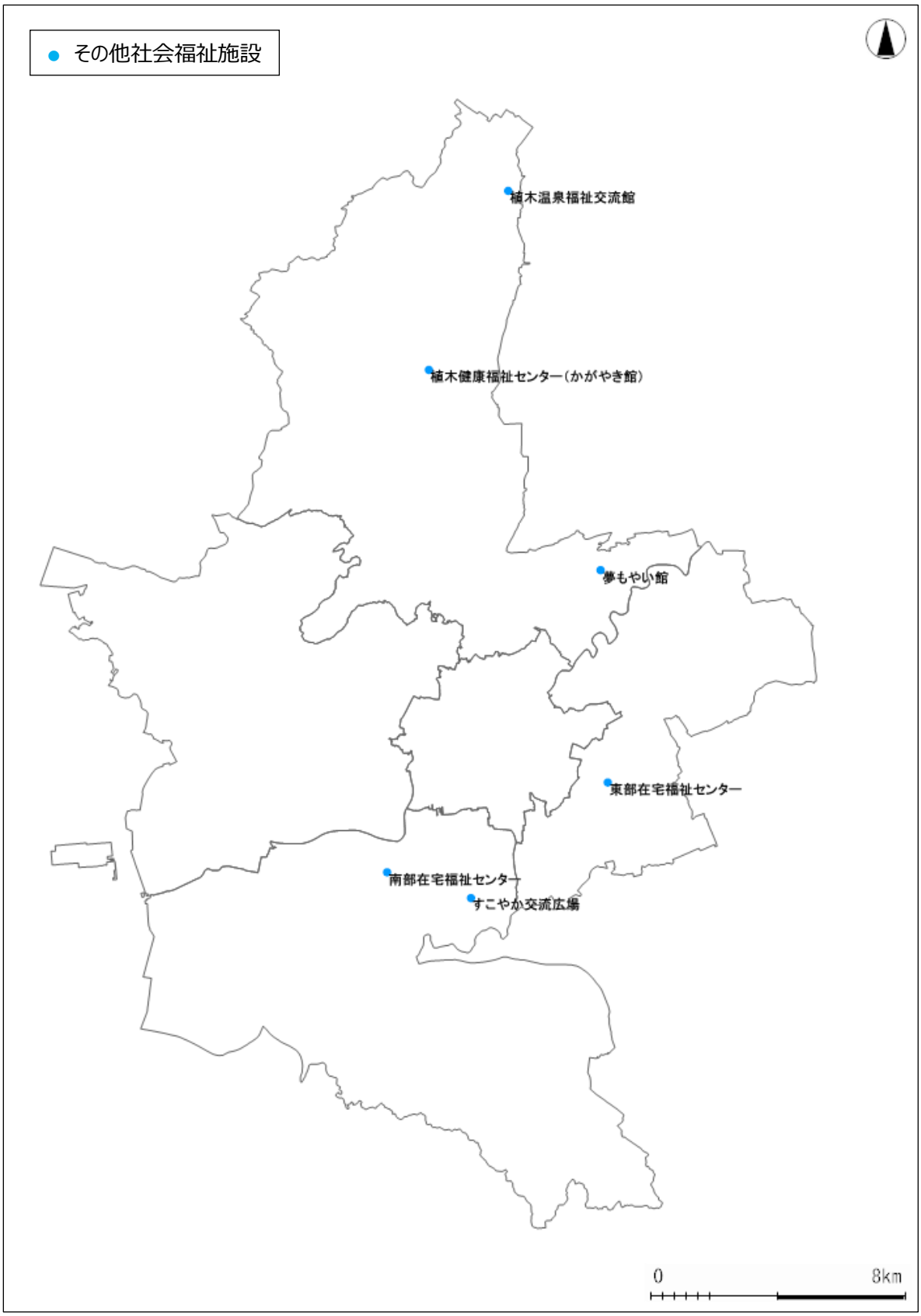
No	名　　称	設置目的	主な利用者
1	東部在宅福祉センター	住民の福祉活動及び交流活動を推進する	一般利用者
2	南部在宅福祉センター	住民の福祉活動及び交流活動を推進する	一般利用者
3	すこやか交流広場	農業体験を通じた自然とのふれあいや世代間交流を図ることにより、次代の社会を担う子どもたちの心豊かな成長と市民の健康づくりに寄与する	保育所、学校、子ども会等の団体
4	夢もやい館	高齢者の健康維持及び介護予防を支援し、元気に生き生きとした自立生活の助長を図り、次世代を担う子供たちの子育てを支援し、健全な発達を図るとともに、相互が交流することにより地域社会のふれあいと連携を深め、もって、市民の福祉の向上に資する	60 歳以上の高齢者、就学前児童及び保護者
5	植木温泉福祉交流館	温泉の利用等による住民の健康の増進及び交流の促進並びに地域福祉の向上を図る	一般利用者
6	植木健康福祉センター（かがやき館）	住民の生涯を通じた健康づくり並びに高齢者及び障がい者の社会参加を促進する	一般利用者

夢もやい館

植木温泉福祉交流館

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 29 年 4 月 1 日現在）

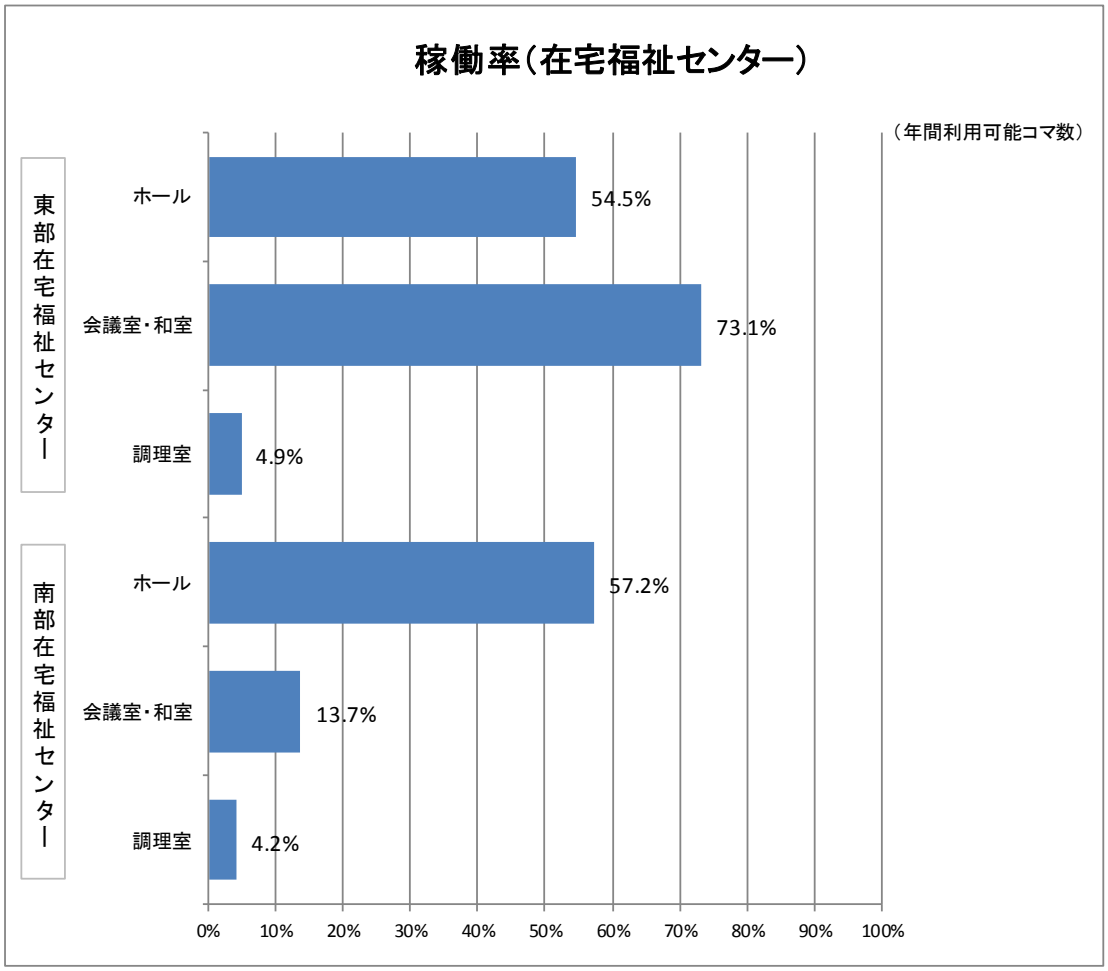


2）実態把握

①運営状況

No	名　称	運営時間	休館日	運営日数	運営方法	備　考
1	東部在宅福祉センター	9:00～22:00	日曜日・年末年始	211	指定管理（利用料金）	
2	南部在宅福祉センター	9:00～22:00	日曜日・年末年始	301	指定管理（利用料金）	
3	すこやか交流広場	7:00～19:00	駐車場のみ年末年始閉鎖	359	直営	
4	夢もやい館	9:00～20:00	日曜日・祝日・年末年始	291	指定管理（利用料金）	
5	植木温泉福祉交流館	9:00～17:00	月曜日（月曜日が休日にあたるときはその直後の休みでない日）・年末年始	259	指定管理（利用料金）	
6	植木健康福祉センター（かがやき館）	10:00～21:00	月曜日（月曜日が休日にあたるときはその直後の休みでない日）・年末年始	304	指定管理（利用料金）	

②在宅福祉センターの利用状況（平成 28 年度）



3）熊本地震による影響

①施設の被害状況（平成 29 年 8 月時点）

No	名称	施設の復旧費用（千円）	復旧完了（予定）日	施設被害の概要
1	東部在宅福祉センター	16 高齢者福祉施設（東老人福祉センター欄）に記載		
2	南部在宅福祉センター	40	H29 年 3 月	被災度区分判定「小破」、外壁の亀裂、建具の破損、給水管の断裂。
3	すこやか交流広場	—	—	—
4	夢もやい館	343	H29 年 3 月	壁の亀裂など。
5	植木温泉福祉交流館	1,176	H29 年 2 月	浄化槽の部分破損、天井の落下。
6	植木健康福祉センター	145,795	H30 年 6 月	天井の一部脱落、壁の亀裂など。
合計		147,354		

②避難所の開設状況（避難所を開設した施設のみ記載）

No	名称	避難所運営期間	避難者の最大人数	避難者の延べ人数
1	東部在宅福祉センター	16 高齢者福祉施設（東老人福祉センター欄）に記載		
合計				

4）総合管理計画における施設分野別方針

方針 1　資産総量の適正化

・2 ヶ所の在宅福祉センターについては、地域コミュニティセンターや公設公民館で機能を代替できないか検討します。

・検討結果を踏まえ、更なる利活用策や用途転用等の可能性についても研究します。

・植木温泉福祉交流館については、利用状況や課題を踏まえ、今後のあり方を検討します。

方針 2　施設の長寿命化の推進

・その他の施設は、スペースの有効活用策や利用者のニーズに応じた運営を行いながら、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を進めます。